

産業廃棄物処理計画書

令和8年 6月 23日

福井市長 殿

提出者
住所 福井市丸山1丁目1118番地

氏名 株式会社 見谷組
代表取締役 見谷 頼貞

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 見谷組
事業場の所在地	福井市丸山1丁目1118番地
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D 06 総合建設業
②事業の規模	工事高 42億円
③従業員数	37名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物→委託収集運搬 廃プラ類・・・再生処理(R P F)へ委託 混合廃棄物・・・選別処理業者に委託→再生処理又は安定型埋立処分 コンクリート、アスコンがら・・・再生処理業者(再生碎石等)に委託 木くず・・・チップ等の再生処理業者又は焼却処理業者に委託 がれき類、ガラス・陶磁器類・・・再生処理業者(原料等)に委託又は安定型埋立処分

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

建築部長…環境管理統括責任者

建築次長…環境管理担当部門長

作業所長…各作業所毎の環境管理責任者

産廃処理担当者…マニフェストの管理

- ・処理方法の選定
- ・委員会の運営

- ・委託業者の選定、契約
- ・マニフェストの交付

工事部会の開催(毎月)

- ・作業所毎の分別産廃処理の状況報告
- ・社内の処理の減量化に関する報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①の通り	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙①の通り	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙①の産業廃棄物の種類の分別を行い、他の産廃物が混入しないように保管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙②の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙①

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和7年度）実績】													
産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	木くず	廃石膏ボード	コンガラ	アスコンガラ	がれき類	ガラス・陶器類	金属くず	紙くず	リサイクルボード
排出量		8.3 t	26.84 t	7.35 t	1.57 t	0 t	3927.29 t	55.36 t	324.1 t	0 t	0 t	0 t	15 t
①現状 (これまでに実施した取組) ・無駄な梱包をなくす ・工場製作出来るものは現場製作から工場製作にかえる													
【目標】													
産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	木くず	廃石膏ボード	コンガラ	アスコンガラ	がれき類	ガラス・陶器類	金属くず	紙くず	リサイクルボード
排出量		15 t	30 t	30 t	10 t	10 t	70 t	50 t	100 t	0 t	0 t	0 t	20 t
②計画 (今後実施する予定の取組) ・無駄のない資材発注の推進 ・排出量の目標値の周知													

